

**環境調査結果のお知らせ**

平成27年7月24日午前、宇佐漁港周辺のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

採水サンプルを検鏡した結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で600cells/ml、シャットネラ属が最高で1cells/ml、デイクチオカ・フィビュラが最高で2cells/ml認められました。

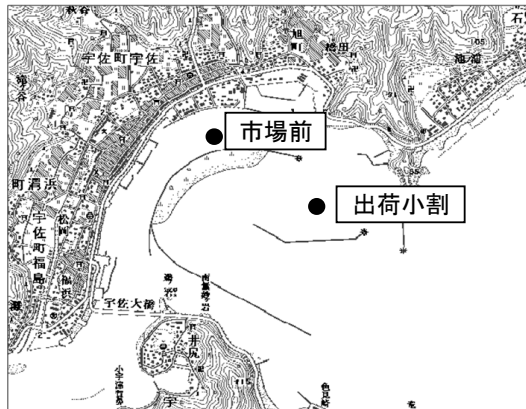
**カレニア・ミキモトイについては被害が想定される細胞密度を上回っていました。**

また、浦ノ内湾内にはカレニア・ミキモトイとシャットネラ属の細胞密度が被害の想定されるレベルの観測点があり、潮汐や風によって宇佐漁港周辺にも移動する可能性があります。

慎重な養殖管理をお願いします。

表5 プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	デイクチオカ・フィビュラ
市場前	0m	54	0	2
	2m	560	0	1
	5m	63	0	0
出荷小割	0m	2	0	1
	2m	5	0	1
	5m	600	1	0
(参考) 浦ノ内中学前	0m	1	0	0
	2m	1,230	250	20
	5m	3	8	5
(参考) 大鹿	0m	25	0	0
	2m	6,000	10	0
	5m	112	0	1
(参考) 水試小割前	0m	169	0	0
	2m	1,950	1	2
	5m	71	0	1



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ:  
数百～5,000cells/ml(魚類などのへい死)
- ・シャットネラ属:  
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・デイクチオカ・フィビュラ(魚類のへい死):  
赤潮発生時